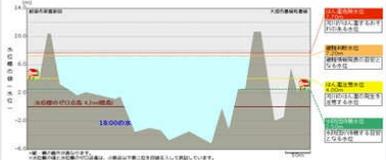


【共通訓練】: 防災体制の確認(1)【情報の収集・報告・判断訓練】

実施の有無	訓練項目	訓練目標 記載例を参考に、各施設で設定して下さい	担当者	結果
□	<p>■ 訓練開始</p> <p>訓練①: 気象情報を収集する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレビのdボタン(NHK)を確認する。 ・気象庁のホームページを確認する。 ・気象台のホームページを確認する。 ・防災情報メールを確認する。 ・市町村ホームページを確認する。 ・ラジオから情報確認する。 	(例) 様式3で整理した気象情報について、操作に迷わず円滑に確認する		
□	<p>訓練②: 河川水位情報を収集する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「川の防災情報」を確認する。 ・河川事務所の水位情報やライブカメラの情報を確認する。 ・防災情報メールを確認する。 	(例) 様式3で整理した洪水予報・河川水位について、操作に迷わずに確認する		
□	<p>訓練③: 責任者に台風や河川水位の情報を報告する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台風の影響予測を報告する。 ・現状の水位情報を報告する。 	(例) 情報収集伝達要員は設定した防災情報を確認後、速やかに責任者に伝える		
□	<p>訓練④: 責任者が「心のスイッチを入れる」判断と必要な指示を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去の状況、今後の予測情報を踏まえ、施設内の防災体制に移行するための決断を行う。 	(例) 職員は様式12に沿った役割を確認する		
□				

【共通訓練】: 防災体制の確認(2)【情報の収集・報告・判断訓練】

実施の有無	訓練項目	訓練目標 記載例を参考に、各施設で設定して下さい	担当者	結果
□	<p>訓練⑤: 避難準備・高齢者等避難開始などの避難情報を確認し、責任者に報告する</p> <ul style="list-style-type: none"> 市町村ホームページから避難情報を確認する。 河川の水位情報を確認し、避難判断水位に達していないか、到達するおそれがないか確認(予測)する。  <p>避難情報が発令されました</p>	(例) 情報収集伝達要員は設定した防災情報を確認後、速やかに責任者に伝える		
□	<p>訓練⑥: 責任者が避難開始を判断し、指示を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> 気象情報、河川水位情報に応じた対応(様式2)の指示を行う ⇒どのような気象情報、水位情報のときに、どのような対応をすべきか判断・指示することが大事です。  <p>避難を開始しますので、車の手配をお願いします。</p>	(例) 避難準備・高齢者等避難開始が発令されたら、職員に避難開始を指示する		
□	<p>訓練⑦: 施設利用者への説明を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 避難訓練を行うことについて、利用者の状況に応じて、適切な説明を行う。 ⇒移動することを別な表現(散歩など)で説明することも工夫の一つです)  <p>避難場所まで避難します</p>	(例) 訓練を行うことの説明をわかりやすく説明する		
□				

【訓練時における課題や気づき】

【共通訓練】：防災体制の確認(2)【情報の収集・報告・判断訓練】

【ヒント集】

- ・常に天気やニュース(特に台風時)をチェックするようにしている。
- ・大雨が予想される場合は気象情報を近隣施設と伝え合うようにしている。
- ・インターネットでの情報収集で、ブックマークの登録やデスクトップ上にアイコンを追加するなどにより、簡単にアクセスできるようにしている。
- ・「川の防災情報」のライブカメラ映像を活用している。
- ・天気予報確認後、園児の登園を園長が決定し、事前に保護者にメール配信している。
- ・施設独自に、目安となる河川水位を設定している。(事例紹介参照)
- ・停電でテレビや携帯等が使用できない可能性を踏まえて、ラジオやトランシーバー等を準備している。

事例：施設独自の水位標を設置して避難判断のタイミングを確認

特別養護老人ホームAは、川沿いに施設があるため、市の協力を得て、施設前の護岸に水位ラインを引いて、災害対策本部を設置する水位(警戒水位)と避難行動の開始水位(避難判断水位)を設定しています。

平成25年秋田・岩手豪雨では、この水位標にもとづき避難行動を開始した結果、施設利用者全員が無事に安全な場所に避難できました。

